



春爛漫の猿賀公園

平川さくらまつり

4月23日～5月5日、猿賀公園にて「平川さくらまつり」が開催されました。感染症対策を実施したうえで、シートを広げての宴会や食べ歩き禁止などのご協力をいただきながらの開催となりましたが、まつり期間中は、ぷらすマルシェやカヌー・アクアボールなどの体験、フォトコンテストなどたくさんのイベントも行われました。

今年は桜の開花が早く、開会式が行われた23日には散り始めの状態ではありましたが、訪れた方々は、風に舞う桜吹雪や水面の「はないかだ花筏」を写真に納めたり、桜のじゅうたんの上を散策したりなど、思い思いの様子でまつりを楽しんでいました。



ご当選おめでとうございます

ひらかわ健康ポイント事業 当選賞品贈呈式

3月25日、「ひらかわ健康ポイント事業」の当選賞品贈呈式が行われました。この事業は、健（検）診や健康づくり関連事業などに参加して、ポイントを獲得し応募することで、参加賞や抽選で健康関連グッズなどがもらえる事業です。一等賞品の電気圧力鍋が当選した方々に、市長は「皆さまは、日々さまざまな方法で健康づくりに取り組んでおられる方と存じます。引き続き健康づくりに取り組んでいただければ幸いです」と述べました。

これからも長生きを！

100歳到達の記念品が 贈呈されました

4月15日、市内のグループホームもみじの森に入所している白戸ミネさんが100歳の誕生日を迎えられました。この日は施設内で誕生会が開催され、白戸さんは、市から顕彰状や花束などを贈られると「皆さんのおかげです。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べられました。





元気な歓声が響きました

子どもフェスティバル

5月5日の「こどもの日」に合わせ、子ども達を対象としたイベント「子どもフェスティバル」が開催されました。ふれあいや体験を通じて子どもたちの情操を豊かにすることを目的としており、今年で17回目の開催となります。

会場となった文化センターには、スライム作りなどのハンドメイドの体験コーナーや、ジャグリングショー体験、警察車両・消防車両の乗車体験のコーナーなどが設けられ、子ども達が様々な体験をしながら楽しんでいました。また、この日は輪投げゲームや焼き鳥などの模擬店の出店もあり、晴天に恵まれたこともあって、多くの家族連れでにぎわっていました。



地域の課題解決に取り組みます

西地区まちづくり委員会が法人化されました

松崎小学校区6町会で組織され、地域の課題を住民主体で解決するため活動してきた「西地区まちづくり委員会」が、更に活動の幅を広げるため、一般社団法人として新たなスタートを切りました。これまで行ってきたカーブミラーの清掃や合同防災訓練などに加えて、市の事業も受託します。4月15日、法人の設立総会が開催され、会長の相馬孝さんは「一つ一つの町会では対応できない課題も、6町会で力を合わせて解決していきたい」と意気込みを語りました。



穏やかな日に戻ることを祈ります

猿賀神社崇敬会大祭

5月3日、猿賀神社崇敬会大祭が開かれ、悪疫退散を祈念する伝統の「鬼面奉射神事」が行われました。新型コロナウイルス感染症の収束を願い、山谷敬宮司が鬼の面が描かれた木札に矢を2度放ち、最後は刀で一刀両断しました。

併せて、穏やかな世に戻ることを祈り、津軽神楽の「朝倉の舞」が奉納されました。